

平成27年度 維持管理状況(1月1日～31日)

<工場設置計器の測定結果>

清掃工場名等	焼却能力	炉番号	処分した一般廃棄物	ごみ焼却量	燃焼室ガス温度	集じん器入口ガス温度	排ガス中の一酸化炭素濃度(煙突) (O2 12%換算)	冷却設備及び排ガス処理設備に堆積したばいじんの除去	
	t/日			t	℃	℃	ppm		
光が丘	300	1号炉	可	3,412.35	824~1,004	159~161	1~26	ボイラ設備の除じんはボイラスートブロワ又はボイラ槌打装置により毎日実施する。ろ過式集じん器の除じんは空気式自動洗浄装置により毎日実施する。	
		2号炉		3,581.28	812~989	149~156	3~63		
目黒	600	1号炉		休炉中					
		2号炉		休炉中					
有明	400	1号炉		4,913.09	1,029~1,141	173~176	0~50		
		2号炉		5,889.65	1,036~1,181	173~177	0~52		
千歳	600	1号炉		16,218.83	925~1,092	158~163	7~21		
江戸川	600	1号炉		7,862.21	875~963	170~171	0~1		
		2号炉		7,931.36	831~945	170~171	0~5		
墨田	600	1号炉		3,829.46	1,041~1,123	159~161	0~14		
北	600	1号炉		2,973.03	971~1,166	160~171	3~32		
新江東	1,800	1号炉		定期点検補修					
		2号炉		12,264.36	965~1,165	165~172	1~20		
		3号炉		17,921.73	862~1,169	166~174	0~18		
港	900	1号炉		8,743.55	913~1,169	166~168	2~26		
		2号炉		4,840.16	972~1,167	167~169	0~18		
		3号炉		4,347.73	903*1~1,157	165~167	0~21		
豊島	400	1号炉		5,375.00	859~918	167~169	6~125*①		
		2号炉		5,585.94	863~917	166~168	3~62		
渋谷	200	1号炉		1,291.09	949~1,004	146~154	0~21		
中央	600	1号炉	8,319.00	919~1,059	147~152	0~20			
		2号炉	8,227.05	939~1,066	148~152	0~40			
板橋	600	1号炉	4,070.15	941~1,185	159~165	0~60			
		2号炉	5,538.92	919~1,149	160~165	0~2			
多摩川	300	1号炉	3,156.05	865~1,010	155	0			
		2号炉	3,994.47	853~1,056*2	155	0			
足立	700	1号炉	8,932.36	880~1,062	172~174	1~18			
		2号炉	7,932.00	893~1,020	171~172	1~17			
品川	600	1号炉	4,458.76	915~1,029	159~164	0~27			
		2号炉	6,201.88	904~1,046	159~164	0~35			
葛飾	500	1号炉	2,143.55	968~1,086	160	1~27			
		2号炉	6,133.79	956~1,075	159~161	3~16			
世田谷	300	1号炉	3,962.68	928~1,052	167~190	0~80			
		2号炉	1,400.90	918~1,052	167~195	0~57			
大田	600	1号炉	8,092.38	832~1,008	150~170	4~77			
		2号炉	8,109.67	842~1,025	150~167	6~43			
練馬	500	1号炉	6,168.11	852~991	151~164	0~63			
		2号炉	6,098.56	808~980	151~162	0~46			
破碎ごみ処理施設	180	1号炉	破碎した可燃系粗大ごみ	定期点検補修					

- \* 1 港清掃工場3号炉の燃焼室ガス温度に誤りがあったため訂正しました。(平成28年5月31日)
- \* 2 多摩川清掃工場2号炉の燃焼室ガス温度に誤りがあったため訂正しました。(平成28年5月31日)

測定値が維持管理計画値を超過した(下回った)理由(\*)

平成27年度 維持管理状況(1月1日～31日)＜工場設置計器の測定結果＞より

- ① 豊島清掃工場 1号炉 1月5日(火) 2:00  
排ガス中の一酸化炭素濃度が、煙突入口連続測定器で125ppmを記録した。  
原因は、ごみ質の急変により燃焼が不安定となり、一時的に不完全燃焼状態になったことによる。  
直ちに、燃焼空気量及びごみ供給量の調整を行い燃焼改善を図った。  
その結果、維持管理計画値以下の正常な燃焼状態に回復した。